



事業目的・概要等

背景・目的

アジア諸国を中心に、**世界の廃棄物の量が急増**し、喫緊の課題になっている。他方で、大量に発生する**廃棄物はエネルギーを生む重要な資源**であり、資源循環と気候変動の統合的取組の必要性がG7や循環基本計画等において指摘されている。2016年に発効した「パリ協定」等を踏まえれば、**廃棄物分野における徹底的な気候変動政策の推進が国内外で不可避**となっている。

こうした状況を踏まえ、本事業では、**国際的にもニーズの高い我が国の地域循環圏・エコタウン**について、**低炭素化及び地域資源循環の高度化**に資する地方公共団体等の取組を支援し、**循環産業の海外展開も一層促進**できる循環分野での地域循環圏モデルの確立・高度化を後押しする。

事業概要

低炭素化に貢献する地域循環圏の構築に向け、各類型パターン(①里地里山里海地域、②都市・近郊地域、③動脈産業地域、④広域地域)に属する地域において、食品、バイオマス、プラ等の素材に着目した地域循環圏プランを作成し、地球温暖化対策地方公共団体実行計画等に位置付けることを支援する。

事業スキーム

＜間接補助事業＞



補助金(補助率:定額)

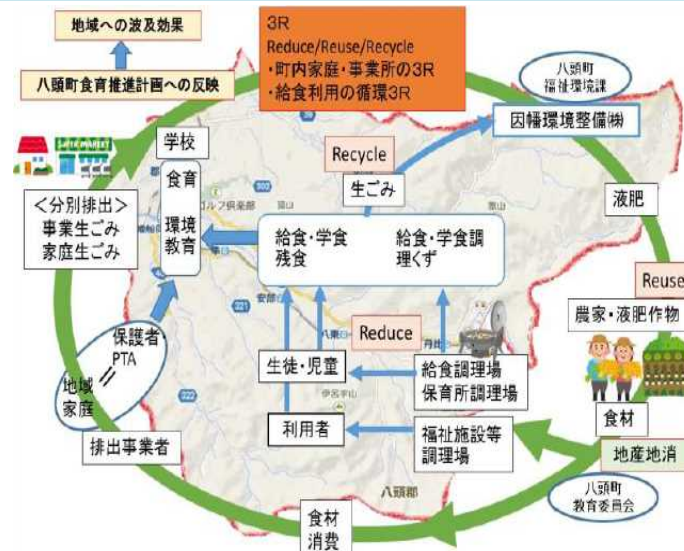
事業期間:H30年度~H32年度

期待される効果

- ・木質バイオマス、下水汚泥等の廃棄物バイオマスのエネルギー利用や地域資源循環を通じた地域活性化。
- ・食品、バイオマス、プラ等の地域での循環を通じた低炭素化の促進。

イメージ

事例1 鳥取県



事例2 神戸市

間伐材や食品廃棄物等の地域バイオマスを下水汚泥と混合し、効率的な**バイオガス発電**を実施

